

資源自律に向けた資源循環システム強靱化実証事業

【事業名】中古EV 蓄電池の 劣化診断データ取得

事業者名：長瀬産業株式会社

実施期間：令和5年6月～令和6年2月

1. 事業の背景・目的

EV蓄電池の循環経済モデルを構築する上で、各循環プロセスの事業化が不可欠である。2次利用プロセスにおいて、活用する中古EV蓄電池の（初期及び経時での）状態確認を効率的に行うことが必要である。一方、現状、EV蓄電池の2次利用プロセスにおいて、①中古EV蓄電池の仕分け作業の煩雑さや手間、②2次利用時は（保証範囲外のため）電池セル製造メーカーからの品質保証を受けられない中（1次利用時履歴のない）での電池セルの安全確保、という2点が課題として挙げられる。本事業では、上記①、②の課題解決を目指し、効率的な劣化診断データ測定機器の開発に取り組むことで、中古EV蓄電池の再利用・2次利用が促進に寄与することを目的とする。

2. 補助事業の概要

本事業では、中古蓄電池を活用した蓄電池システムを構築する際に効率的な仕分け作業を行うため劣化診断データ測定機器の開発を行う。
検証終了後に、データ取得試験を実施、機器活用による効率化の検証を行う。

■ 本事業全体像と今年度補助事業

